

Ⅱ 調査結果の概要

1 人口の動向

(1) 総人口

本県の人口は、平成 24 年中に 10,011 人減少し、平成 25 年 1 月 1 日現在で 2,944,115 人となった。人口増減率は $\Delta 0.34\%$ となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で 6,781 人の減少（増減率 $\Delta 0.23\%$ ）、社会動態で 3,230 人の減少（同 $\Delta 0.11\%$ ）である。

男女別人口の内訳を見ると、男が 4,342 人の減少（増減率 $\Delta 0.29\%$ ）、女が 5,669 人の減少（同 $\Delta 0.38\%$ ）であり、この結果、平成 25 年 1 月 1 日現在で男 1,468,073 人、女 1,476,042 人となっている。（統計表第 4 表）

(2) 性比及び人口密度

平成 24 年 10 月 1 日現在の性比は 99.5 であり、前年同月を 0.1 ポイント上回った。

また、平成 24 年 10 月 1 日現在の人口密度は 483.3 人/ k m^2 であり、前年同月を 1.8 ポイント下回った。（統計表第 1 表）

(3) 地域別人口

市部及び郡部別に見た平成 24 年中の人口増減は、市部が 7,256 人の減少（増減率 $\Delta 0.27\%$ ）、郡部が 2,755 人の減少（同 $\Delta 0.98\%$ ）であった。この結果、平成 25 年 1 月 1 日現在の人口は市部が 2,666,821 人、郡部が 277,294 人となっており、県人口に占める割合は市部が 90.6%、郡部が 9.4%となっている。

次に、県内 5 地域別の人口増減を見ると、県北地域が 4,590 人の減少（増減率 $\Delta 0.72\%$ ）、県央地域が 748 人の減少（同 $\Delta 0.16\%$ ）、鹿行地域が 578 人の減少（同 $\Delta 0.21\%$ ）、県南地域が 1,258 人の減少（同 $\Delta 0.13\%$ ）、県西地域が 2,837 人の減少（同 $\Delta 0.50\%$ ）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成 25 年 1 月 1 日現在で県北地域が 21.5%（631,352 人）、県央地域が 16.0%（472,208 人）、鹿行地域が 9.4%（276,421 人）、県南地域が 33.9%（997,953 人）、県西地域が 19.2%（566,181 人）となっている。（統計表第 4 表）

(4) 市町村別人口

市町村別の人口増減を見ると、8 市で増加、36 市町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（1,572 人）であり、以下、水戸市（852 人）、牛久市（563 人）、つくばみらい市（560 人）、守谷市（344 人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（ $\Delta 1,789$ 人）であり、以下、常陸太田市（ $\Delta 884$ 人）、石岡市（ $\Delta 803$ 人）、取手市（ $\Delta 782$ 人）、稲敷市（ $\Delta 758$ 人）の順となっている。

人口増減率を見ると、最も増加率の高い市町村はつくばみらい市（1.23%）であり、以下、つくば市（0.73%）、牛久市（0.68%）、守谷市（0.55%）、水戸市（0.32%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は大子町（ $\Delta 2.25\%$ ）であり、以下、河内町（ $\Delta 2.16\%$ ）、美浦村（ $\Delta 1.83\%$ ）、稲敷市（ $\Delta 1.65\%$ ）、常陸太田市（ $\Delta 1.60\%$ ）の順となっている。（表 - 1）

表-1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成24年)

人口増減数

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数	市町村名	人口増減数
1	つくば市	1,572	日立市	△ 1,789
2	水戸市	852	常陸太田市	△ 884
3	牛久市	563	石岡市	△ 803
4	つくばみらい市	560	取手市	△ 782
5	守谷市	344	稲敷市	△ 758
6	神栖市	227	筑西市	△ 722
7	ひたちなか市	214	北茨城市	△ 711
8	鹿嶋市	129	桜川市	△ 594
9	那珂市	△ 2	笠間市	△ 566
10	古河市	△ 50	常陸大宮市	△ 539

人口増減率

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減率 (%)	市町村名	人口増減率 (%)
1	つくばみらい市	1.23	大子町	△ 2.25
2	つくば市	0.73	河内町	△ 2.16
3	牛久市	0.68	美浦村	△ 1.83
4	守谷市	0.55	稲敷市	△ 1.65
5	水戸市	0.32	常陸太田市	△ 1.60
6	神栖市	0.24	城里町	△ 1.57
7	鹿嶋市	0.19	北茨城市	△ 1.54
8	ひたちなか市	0.14	大洗町	△ 1.54
9	那珂市	△ 0.00	桜川市	△ 1.32
10	古河市	△ 0.04	常陸大宮市	△ 1.21

また、市町村の人口規模を見ると、平成25年1月1日現在で20万人以上が2市（水戸市、つくば市）10万人以上20万人未満が6市（日立市、ひたちなか市、土浦市、古河市、取手市、筑西市）である。以上8市の合計は1,334,319人であり、県人口の約45%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が3町村、2万人以上3万人未満の町村が3町、1万人以上2万人未満の町村が4町村、0.5万以上1万未満が2町となっている。（表-2）

表-2 人口規模別市町村数の推移（平成3年～平成25年）

各年1月1日現在 人口（人）	平成																								
	3 (年)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
総 数	88	88	87	87	86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	44	44	44	44		
市	市 計	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	32	32	32	32		
	20万以上	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2		
	10万以上20万未満	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	6	6	6		
	7.5万以上10万未満	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5		
	5万以上7.5万未満	7	7	7	7	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9	9	8		
	3万以上5万未満	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10	10	10	11		
	3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	1		
町	郡 計	68	68	67	67	67	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	12	12	12	12		
	5万以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-		
	3万以上5万未満	12	12	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3	3	3	3		
	2万以上3万未満	16	16	15	15	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4	4	4	3		
	1万以上2万未満	23	24	23	24	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4	4	4	4		
	0.5万以上1万未満	14	13	12	11	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1	1	1	2		
村	0.5万未満	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-		

2 自然動態

(1) 自然増減

平成24年中の自然動態は、出生23,329人、死亡30,110人で6,781人の減少となった。自然増減率は△0.23%となっている。

5地域別の自然増減率を見ると、県南地域が△0.07%と最も高く、以下、鹿行地域△0.21%、県央地域△0.22%、県西地域△0.36%、県北地域△0.38%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、守谷市が0.53%と最も高く、以下、つくば市(0.30%)、東海村(0.27%)、牛久市(0.20%)、神栖市(0.18%)の順となっている。(統計表第6表及び表-3)

(2) 出生

平成24年中の出生者数は23,329人(男11,792人、女11,537人)、出生率は7.9‰であった。

5地域別の出生率を見ると、鹿行地域と県南地域がともに8.4‰と高く、以下、県央地域(8.2‰)、県西地域(7.3‰)、県北地域(7.2‰)の順となっている。

市町村別の出生率を見ると、つくばみらい市が10.9‰と最も高く、以下、守谷市(10.8‰)、東海村(10.8‰)、つくば市(10.3‰)、神栖市(10.1‰)の順となっている。(表-3)

(3) 死亡

平成24年中の死亡者数は30,110人(男15,757人、女14,353人)、死亡率は10.2‰であった。

5地域別の死亡率を見ると、県北地域と県西地域がともに11.0‰と高く、以下、鹿行地域(10.5‰)、県央地域(10.4‰)、県南地域(9.1‰)の順となっている。

市町村別の死亡率を見ると、大子町が20.3‰と最も高く、以下、河内町(15.5‰)、常陸大宮市(15.2‰)、常陸太田市(14.6‰)、行方市(14.2‰)の順となっている。(表-3)

表-3 自然増減、出生率及び死亡率順位(平成24年)

(自然増減率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率(%)	市町村名	自然増減率(%)
1	守谷市	0.53	大子町	△1.58
2	つくば市	0.30	河内町	△1.19
3	東海村	0.27	常陸太田市	△1.00
4	牛久市	0.20	常陸大宮市	△0.94
5	神栖市	0.18	行方市	△0.82

(出生率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率(‰)	市町村名	出生率(‰)
1	つくばみらい市	10.9	河内町	3.6
2	守谷市	10.8	大子町	4.5
3	東海村	10.8	常陸太田市	4.6
4	つくば市	10.3	五霞町	4.6
5	神栖市	10.1	利根町	4.7

(死亡率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率(‰)	市町村名	死亡率(‰)
1	大子町	20.3	守谷市	5.5
2	河内町	15.5	つくば市	7.3
3	常陸大宮市	15.2	牛久市	7.7
4	常陸太田市	14.6	ひたちなか市	7.9
5	行方市	14.2	東海村	8.1

3 社会動態

(1) 社会増減

平成 24 年中の社会動態は、転入者数 112,830 人、転出者数 116,060 人で 3,230 人の転出超過となった。社会増減率は $\Delta 0.11\%$ となっている。

市部及び郡部別に見ると、市部で 1,813 人の転出超過、郡部で 1,417 人の転出超過となった。5 地域別では、県北地域が 2,181 人の転出超過、県央地域が 296 人の転入超過、鹿行地域が変動なし、県南地域が 562 人の転出超過、県西地域が 783 人の転出超過となった。

市町村別では、転入超過が 12 市 1 町、転出超過が 20 市 11 町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村はつくばみらい市（社会増減率 1.08%）であり、以下、牛久市（同 0.48%）、つくば市（同 0.43%）、水戸市（同 0.35%）、那珂市（同 0.34%）の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は美浦村（社会増減率 $\Delta 1.38\%$ ）であり、以下、河内町（同 $\Delta 0.97\%$ ）、大洗町（同 $\Delta 0.95\%$ ）、稲敷市（同 $\Delta 0.93\%$ ）、の順となっている。（統計表第 8 表及び表 - 4）

(2) 移動数

平成 24 年中の移動数は 228,890 人、移動率は 7.75%であった。

また、県内市町村間の移動状況を見ると、転入者数 49,505 人、転出者数 49,623 人であった。

一方、県外間の移動状況を見ると、転入者数 60,876 人、転出者数 62,746 人であった。
市町村別の移動率を見ると、つくば市が 12.94%と最も高く、以下、守谷市 (9.87%)、土浦市 (9.82%)、つくばみらい市 (9.74%)、牛久市 (9.67%) の順となっている。(統計表第 8 表及び表 - 4)

表 - 4 社会増減率及び移動率順位(平成24年)

社会増減率					移動率				
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	つくばみらい市	1.08	美 浦 村	△ 1.38	1	つ く ば 市	12.94	大 子 町	3.58
2	牛 久 市	0.48	河 内 町	△ 0.97	2	守 谷 市	9.87	桜 川 市	4.34
3	つ く ば 市	0.43	大 洗 町	△ 0.95	3	土 浦 市	9.82	常 陸 太 田 市	4.53
4	水 戸 市	0.35	稲 敷 市	△ 0.93	4	つくばみらい市	9.74	河 内 町	4.75
5	那 珂 市	0.34	北 茨 城 市	△ 0.89	5	牛 久 市	9.67	城 里 町	4.78

(3) 地域間移動

平成 24 年中の地域間移動数について、県内は 5 地域間、県外は近隣都県別で見ると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動を見ると、県南地域では他の4地域に対してすべて転入超過であり、県北地域では他の4地域に対してすべて転出超過であった。

県外間移動を見ると、近隣都県への転出超過数は東京都が2,944人で最も多く、以下、千葉県(1,005人)、埼玉県(904人)、栃木県(623人)、神奈川県(578人)、群馬県(199人)の順となっている。県外の超過数を5地域別に見ると、鹿行地域が転入超過であり、他の地域は転出超過であった。(表-5)

表-5 県内及び県外(近隣都県)別地域間移動数及び超過数(平成24年)

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)		
全 体	転入計	110,381	100.0	17,744	100.0	17,930	100.0	9,768	100.0	46,604	100.0	18,335	100.0	
	転出計	112,369	100.0	19,934	100.0	17,467	100.0	9,369	100.0	46,620	100.0	18,979	100.0	
	超過数	△ 1,988	-	△ 2,190	-	463	-	399	-	△ 16	-	△ 644	-	
県 内	転入者数	県内計	49,505	44.8	9,543	53.8	9,690	54.0	3,580	36.7	19,576	42.0	7,116	38.8
		県北地域	10,797	9.8	5,610	31.6	3,345	18.7	293	3.0	1,252	2.7	297	1.6
		県央地域	8,973	8.1	2,397	13.5	2,988	16.7	679	7.0	2,285	4.9	624	3.4
		鹿行地域	3,835	3.5	279	1.6	781	4.4	1,928	19.7	699	1.5	148	0.8
		県南地域	18,399	16.7	985	5.6	1,943	10.8	566	5.8	13,060	28.0	1,845	10.1
		県西地域	7,501	6.8	272	1.5	633	3.5	114	1.2	2,280	4.9	4,202	22.9
	転出者数	県内計	49,623	44.2	10,807	54.2	8,958	51.3	3,866	41.3	18,405	39.5	7,587	40.0
		県北地域	9,523	8.5	5,589	28.0	2,388	13.7	280	3.0	991	2.1	275	1.4
		県央地域	9,741	8.7	3,367	16.9	2,992	17.1	788	8.4	1,941	4.2	653	3.4
		鹿行地域	3,598	3.2	290	1.5	685	3.9	1,946	20.8	560	1.2	117	0.6
		県南地域	19,597	17.4	1,268	6.4	2,274	13.0	701	7.5	13,064	28.0	2,290	12.1
		県西地域	7,164	6.4	293	1.5	619	3.5	151	1.6	1,849	4.0	4,252	22.4
	超過数	県内計	△ 118	*	△ 1,264	*	732	*	△ 286	*	1,171	*	△ 471	*
		県北地域	1,274	*	21	*	957	*	13	*	261	*	22	*
		県央地域	△ 768	*	△ 970	*	△ 4	*	△ 109	*	344	*	△ 29	*
		鹿行地域	237	*	△ 11	*	96	*	△ 18	*	139	*	31	*
		県南地域	△ 1,198	*	△ 283	*	△ 331	*	△ 135	*	△ 4	*	△ 445	*
		県西地域	337	*	△ 21	*	14	*	△ 37	*	431	*	△ 50	*
県 外	転入者数	県外総数	60,876	55.2	8,201	46.2	8,240	46.0	6,188	63.3	27,028	58.0	11,219	61.2
		栃木県	3,333	3.0	377	2.1	444	2.5	104	1.1	747	1.6	1,661	9.1
		群馬県	1,134	1.0	182	1.0	190	1.1	57	0.6	421	0.9	284	1.5
		埼玉県	5,390	4.9	636	3.6	781	4.4	289	3.0	2,107	4.5	1,577	8.6
		千葉県	8,461	7.7	875	4.9	887	4.9	1,461	15.0	4,369	9.4	869	4.7
		東京都	9,590	8.7	1,266	7.1	1,498	8.4	862	8.8	4,624	9.9	1,340	7.3
		神奈川県	4,415	4.0	776	4.4	676	3.8	409	4.2	2,000	4.3	554	3.0
		その他の道府県	28,553	25.9	4,089	23.0	3,764	21.0	3,006	30.8	12,760	27.4	4,934	26.9
	転出者数	県外総数	62,746	55.8	9,127	45.8	8,509	48.7	5,503	58.7	28,215	60.5	11,392	60.0
		栃木県	3,956	3.5	427	2.1	458	2.6	106	1.1	1,006	2.2	1,959	10.3
		群馬県	1,333	1.2	212	1.1	192	1.1	69	0.7	485	1.0	375	2.0
		埼玉県	6,294	5.6	784	3.9	890	5.1	338	3.6	2,382	5.1	1,900	10.0
		千葉県	9,466	8.4	1,056	5.3	1,111	6.4	1,437	15.3	4,872	10.5	990	5.2
		東京都	12,534	11.2	2,046	10.3	1,902	10.9	944	10.1	5,970	12.8	1,672	8.8
		神奈川県	4,993	4.4	951	4.8	771	4.4	444	4.7	2,239	4.8	588	3.1
		その他の道府県	24,170	21.5	3,651	18.3	3,185	18.2	2,165	23.1	11,261	24.2	3,908	20.6
	超過数	県外総数	△ 1,870	*	△ 926	*	△ 269	*	685	*	△ 1,187	*	△ 173	*
		栃木県	△ 623	*	△ 50	*	△ 14	*	△ 2	*	△ 259	*	△ 298	*
群馬県		△ 199	*	△ 30	*	△ 2	*	△ 12	*	△ 64	*	△ 91	*	
埼玉県		△ 904	*	△ 148	*	△ 109	*	△ 49	*	△ 275	*	△ 323	*	
千葉県		△ 1,005	*	△ 181	*	△ 224	*	24	*	△ 503	*	△ 121	*	
東京都		△ 2,944	*	△ 780	*	△ 404	*	△ 82	*	△ 1,346	*	△ 332	*	
神奈川県		△ 578	*	△ 175	*	△ 95	*	△ 35	*	△ 239	*	△ 34	*	
その他の道府県		4,383	*	438	*	579	*	841	*	1,499	*	1,026	*	

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。

3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。

・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。

・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。

4) その他の県には国外を含む。

5) その他の移動者(従前の住所地なし、転出先不明等)数は含まない。

(4) 年齢別社会動態

平成24年中の県内における年齢別転入及び転出者数を5歳階級別に見ると、20歳～24歳(1,486人)及び25歳～29歳(936人)、30歳～34歳(880人)、において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別に見ると、23歳が951人の転出超過(転入4,735人、転出5,686人)と最も多く、次いで24歳が342人(転入4,205人、転出4,547人)、30歳が241人(転入4,069人、転出4,310人)となっている。(統計表第13表及び図-5)

地域別の社会増減数を5歳階級別に見ると、県北地域・県央地域では20歳～24歳、県南地域・県西地域では25歳～29歳、鹿行地域では35歳～39歳の転出超過が多くなっている。(図-6)

図5 年齢(5歳階級)別転入及び転出者数

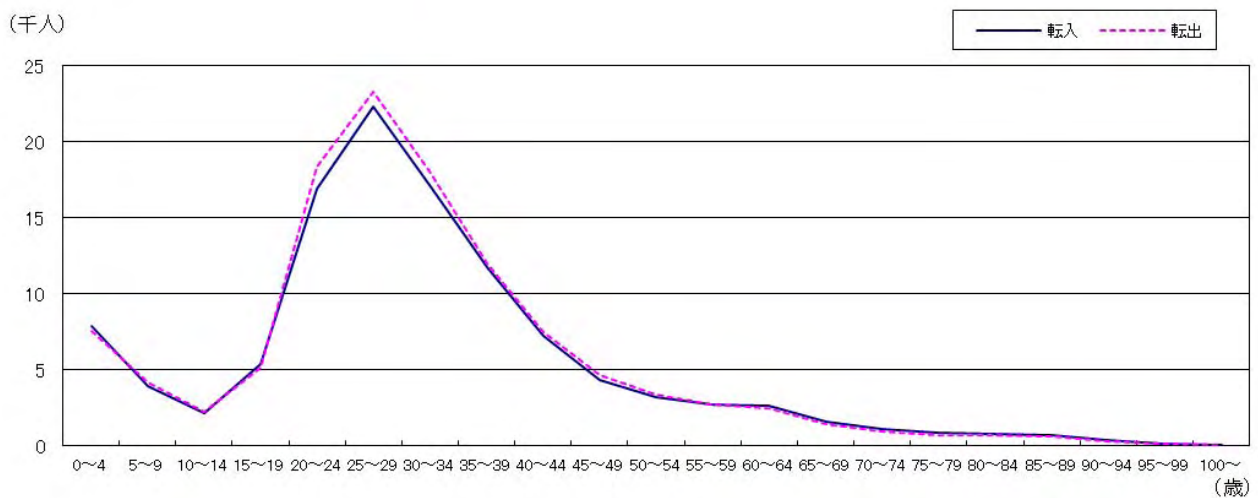
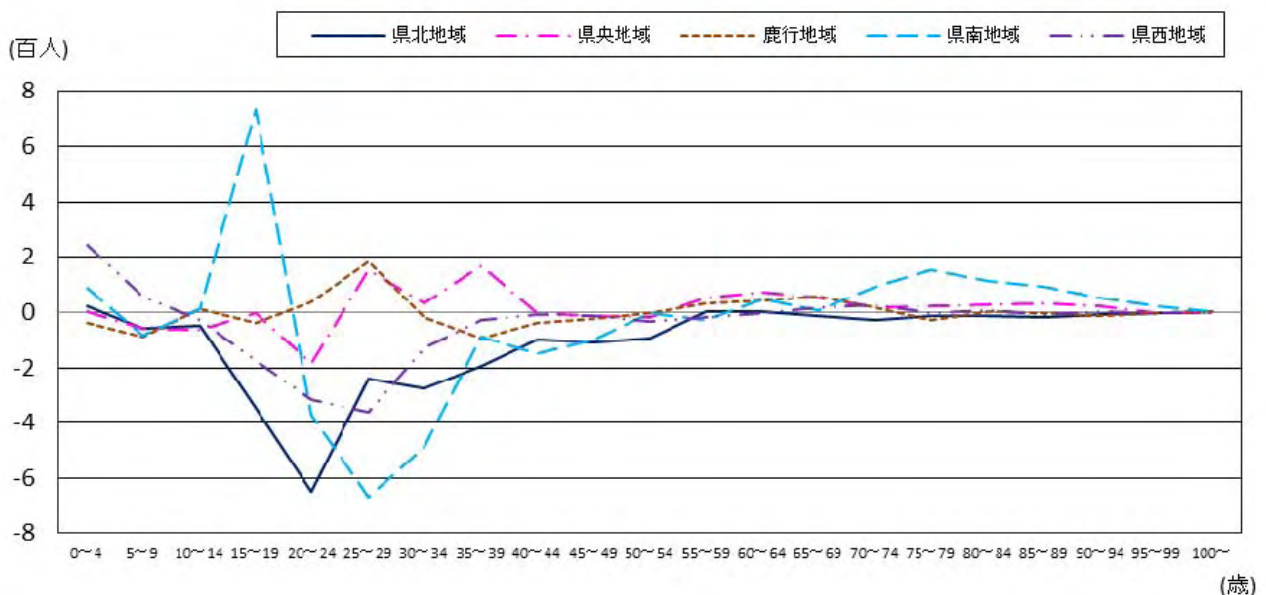


図6 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数(平成24年)



4 世帯数, 1世帯あたり人員

平成25年1月1日現在の世帯数は1,109,173世帯であり、平成24年中に11,218世帯増加し、増減率は1.02%となっている。(統計表第4表及び図-7)

1世帯あたり人員については、平成24年10月1日現在2.66人となっている。(統計表第1表)

図7 人口増減率及び世帯数増減率の推移

